

平成 28 年度 第3回 屋代高等学校・附属中学校 学校評議員会 記録

日 時： 平成 29 年 2 月 13 日(月) 15:50～17:00

場 所： 本校多目的室

出席者： 学校評議員 2 名

学校職員 10 名

(学校長，教頭，副校長，高校教務主任，中学教務主任，キャリア教育主任，生徒指導主任，生徒会主任，SSH 委員長，記録担当者)

1 開会 (教頭)

2 学校長挨拶 (学校長)

高校 3 年生は進路に向かって頑張っている。本校の SSH は第Ⅳ期を迎え，コンテストへの参加なども増している。冬季国体で活躍した生徒もいる。来年度は附属中 1 期生が高校 3 年に進み，中高一貫校として完成を見る。今後の大学入試改革を見据えつつ，本校がさらに発展するときである。忌憚のないご意見を伺いたい。

3 各担当からの説明

(1) SSH 第Ⅳ期 1 年目の取組み

【生徒発表】

① 理数科課題研究 (理数科 2 年 4 名)

「水溶液中におけるショ糖の還元力発現について ～二糖のもつグリコシド結合への pH の影響～」

② SSH 米国研修 (平成 28 年 12 月) (普通科 2 年 2 名)

「A Study Trip in the USA」

◆本年度の新たな取組みと課題 (SSH 委員長)

・米国研修での高校交流 ・善光寺グローバルサミットへの参加 ・SSH/SGH 会議

(2) センター試験結果および二次試験，私大入試への取組み (キャリア教育主任)

・センター試験受験状況 ・国公立大学出願状況 ・私大短大専門学校出願状況

(3) 学校評価について (教務主任)

・学校評議員アンケート集計

4 提言

(評議員 A) 最近，働き方の問題が注目されている。やはり「努力よりも成果」という風潮がある。幅広い視野と教養を身につけないまま社会に出てしまうと弱い。学生時代に悩むことも，人間の強さになる。学校では，教科の知識だけでなく，先生の背後にある教養や文化

といったものに影響を受けると思う。今後も、様々な取組みを通して学ぶという姿勢を身に着けて、時には失敗しても、それを力に変える逞しい人間を育ててほしい。

(評議員 B) 感想であるが、いつも屋代高校の取組みには感動している。一方で、センター試験の結果を見ると「長野県の課題は数学だ」と常々思う。小中学生も全国と比べて低い。小学校も行事が多い。国語もまだ十分に身につけていないのに英語もやらなければならない。

5 学校長謝辞

(学校長)

今行われている取組み1つ1つをきちっと完遂することが肝要だと考える。本校の生徒は優しい子が多いが、もっと野心的になっていいと思う。初めに抱いた動機がどうあれ、向上心を持ち続けて夢をつかみ、結果的に社会に貢献する人材となってくれればいい。本日はありがとうございました。

6 閉会・諸連絡

(教頭)